

発行日 2021年4月30日



環境経営レポート

Environmental Management Report

2020

【レポートの対象期間：2020年4月～2021年3月】



KANSO ENGINEERING

関綜エンジニアリング株式会社

太田事業所

Think beyond impossible ...

ご挨拶

関綜エンジニアリング株式会社は、2014年創業以来、電気・機械設備を中心とした総合設備の設計・施工・保守管理を通じて地域社会に貢献してまいりました。

人々の生活に欠かせない電気は、照明設備や空調設備などに使われるエネルギーとしてはもちろんですが、IT化の進んだ現在では、ますます重要なものとなっています。そのため、私たちは、「人、環境、エネルギー」をキーワードに、安心・安全と快適な環境づくりに取り組んでおります。

企業の規模も拡大の方向にあり、変革は環境にも与える影響が大きい事を受け止め、次頁の環境方針を基に環境活動を展開し、地球環境に優しい企業として環境への配慮も企業活動の大きな役割として捉え新たな一歩を歩み出しました。

以下、「環境経営レポート」としての取り組みをまとめましたので、私たちの取組をご高覧の上、ご指導、ご指摘をいただき次の環境活動に生かして行きたいと存じます。

関綜エンジニアリング株式会社
代表取締役社長
高橋 孝明

《目次》

- | | |
|-----------------------|-----|
| 1. 環境経営方針 | P-1 |
| 2. 事業活動の規模 | P-2 |
| 3. EA21推進体制 | P-3 |
| 4. 環境経営目標とその実績 | P-4 |
| 5. 環境活動の取組計画と評価 | P-5 |
| 6. 環境関連法規制の遵守 | P-6 |
| 7. 代表者による全体の評価と見直し・指示 | P-6 |



1. 環境経営方針

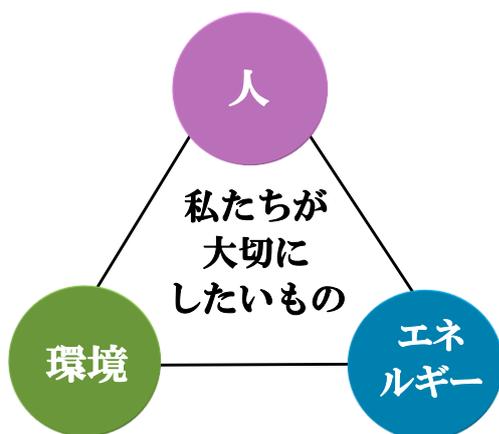
基本理念

子供たちが希望の持てる未来の創造のため
変化への挑戦を恐れず行動し、地域社会と人に優しい事業活動を営み
人がより快適に過ごせる環境づくりを目指します。

基本方針

環境保全活動を推進するにあたり、以下に主な活動項目を掲げ取組みます。

1. 集じん機や廃液浄化装置、板金部品の製品設計・開発から製造サービス及び廃棄までの全ての事業活動について、環境への影響を考慮して継続的改善に努めます。
2. 事業活動に伴う、原材料の効率的使用や製品製造における歩留改善で廃棄物及び環境汚染物質の管理・削減を図るとともに、環境汚染物質の予防に取り組み関連法規や約束等を遵守いたします。
3. 事業活動に伴う、電気等のエネルギー削減及び資源のリサイクル等の有効活用を積極的に推進いたします。
4. 環境への取組目的を明確に設定し、組織的に推進するとともに定期的に見直しを実施し、快適な環境づくりを目指します。
5. 環境管理に関する情報は、社内外に公表し、地域社会とのコミュニケーションを図ります。



2020年 4月 1日

関綜エンジニアリング株式会社

代表取締役 高橋 孝明

2. 事業活動の規模

1. 事業所及び代表者名

関綜エンジニアリング株式会社 太田事業所
代表取締役社長 高橋 孝明

2. 所在地

〒379-2306 群馬県太田市大久保町124番地3

3. 環境保全関係の責任者及び担当者連絡先

代表責任者 : 代表取締役社長 高橋 孝明
環境管理責任者 : 事業部長 赤石 江位子
担当 : EA21事務局 井樋 由里子
TEL : 0277-32-6161
FAX : 0277-32-6162

4. 対象範囲

関綜エンジニアリング株式会社 太田事業所

- * 太田支店については、2023年3月までに取得予定
(2022年度上期中の太田事業所との統合予定に伴い)
- * 本店、本社については、2025年3月までに取得予定
- * 佐野営業所については、2026年3月までに取得予定

5. 事業規模

活動規模	単位	2018年	2019年	2020年
売上高	百万円	352	325	327
従業員数	人	24	25	23
延べ床面積	m ²	2,878	2,878	2,878

- * 2018年の売上高は、2018年4月～2019年3月の12ヶ月のデータです。
- * 2019年の売上高は、2019年4月～2020年3月の12ヶ月のデータです。
- * 2020年の売上高は、2020年4月～2021年3月の12ヶ月のデータです。

6. 事業の内容

集じん機や廃液浄化装置、板金部品の製品設計・開発及び製造・サービス

[集じん技術]

フィルター式
集じん装置



湿式集じん装置



粉じん減溶固化

[電解技術]

水溶性加工液
浄化装置

電解技術向上による、腐食反応を抑えた

電解殺菌浄化装置

- 水溶性クーラント液を使用する
全ての装置・工作機械を対象
- 切削・研磨加工液
(エマルジョン・乳濁液)を電解浄化
- 腐食反応抑制(防サビ効果)
- 加工液の長寿命化
- 製品品質の安定化



電解水生成装置



アルカリ電解水
「スキルフルウォーター」



[プラズマ放電技術]

電気式集じん装置



あきらめないでください！



- 油の臭いがひどい
- オイルミストで工場内がかすむ
- オイルミストで周辺機器が不具合を起こす
- リサイクルできる油を廃棄している
- 油で床が滑りやすい
- 従業員や環境にやさしい工場をつくりたい

危険なオイルミストを除去！



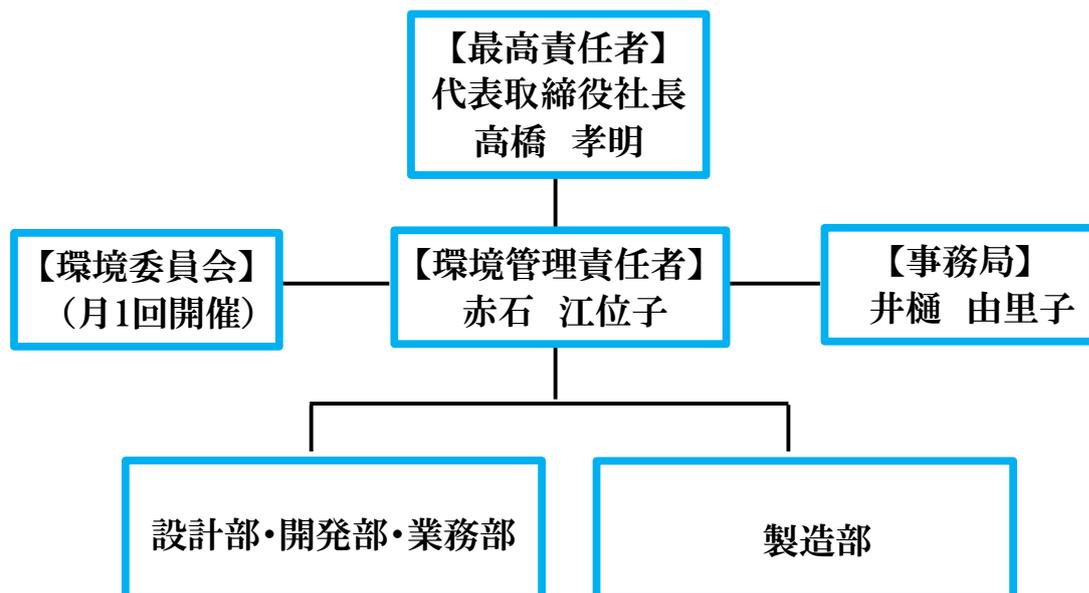
クリーンな環境を実現します！

[板金加工技術]

洗浄機をはじめ、装置開発及び板金の試作・量産までを一貫した体制にて対応します。



3. EA21推進体制



職名	役割
最高責任者	<p>【代表取締役 高橋 孝明】</p> <p>①環境管理責任者をはじめ、必要な責任者を任命する。該当責任者には、現在の責務に関わりなく、兼任で責任と権限を明示する。</p> <p>②エコアクション21の構築・運用・維持に必要な経営諸資源(人材・資金・機器・設備・技術・技能を含む)を準備する。</p> <p>③環境方針を制定する。</p> <p>④エコアクション21の構築・運用に関する情報を収集し、環境方針・環境目標をはじめシステム全体の見直しを行い、必要に応じ改訂を指示する。</p>
環境管理責任者	<p>【赤石 江位子】</p> <p>①エコアクション21に関する経営諸資源の合理的・効果的な運用を図り、目的を達成するために環境委員会を運営する。</p> <p>②エコアクション21の構築と運用を円滑に行い、最高責任者による見直しのための情報として、構築・運用に関する情報を最高責任者に提供する。</p>
事務局	<p>【井樋 由里子】</p> <p>①事務局として、環境管理責任者を補佐し、エコアクション21に関する実務全般を所管する。</p>
環境委員会	<p>最高責任者・環境管理責任者・事務局・部門長で構成し、月1回環境管理責任者が召集する。環境目標の設定、環境活動計画の策定及び進捗管理について協議する。環境管理責任者が必要と認めた者は出席することができる。</p>

4. 環境経営目標とその実績

当社に於ける2020年4月～2021年3月までの環境負荷実績を把握し、2021年～2022年迄の目標を下記の通り定め活動を開始しました。

1. 環境経営目標とその実績

* 購入電力の排出係数は、0.474kg-CO₂/kWh(東京電力:2018年度)を使用しています。

* 2019年の実績は、2019年4月～2020年3月の12ヶ月のデータです。

* 2020年の実績は、2020年4月～2021年3月の12ヶ月のデータです。

環境経営目標	基準値	今年度目標				中長期の目標	
	2019年	2020年				2021年	2022年
	実績	目標	目標値	実績	目標の達成状況	目標	目標
①売上高1万円当たりの二酸化炭素排出量の削減(kg-CO ₂ /万円)	3.87	2019年実績に対して1%削減	3.83	3.67	2019年度実績(3.87kg-CO ₂ /万円)に対して、2020年度実績(3.67kg-CO ₂ /万円)、率で(-5.2%)削減できました	2019年実績に対して2%削減	2019年実績に対して3%削減
②売上高1万円当たりの廃棄物排出量の削減(kg/万円)	1.12	2019年実績に対して1%削減	1.01	1.16	2019年度実績(1.12kg/万円)に対して、2020年度実績(1.16kg/万円)、率で(+3.9%)増加してしまった	2019年実績に対して2%削減	2019年実績に対して3%削減
③従業員1人当たりの水資源投入量の削減(m ³)	35.0	2019年実績に対して1%削減	31.5	21.4	2019年度実績(35m ³ /人)に対して2020年度実績(21.4m ³ /人)、率で(-38.8%)大幅に削減できました	2019年実績に対して2%削減	2019年実績に対して3%削減
④化学物質取扱及び管理の徹底		管理の徹底	—	取扱量の把握	毎月の購入量把握と危険物貯蔵庫の実棚卸(毎月)で管理の徹底が継続できた	「溶接ヒューム」も管理開始 ※	前年度の取組み内容を継続
⑤本業に関する目標	—	生産性の向上	—	レイアウト変更による段取りの効率率が向上した	第1工場に材料ストッカー増設と第2工場のレイアウト変更により生産性が向上	次期バージョンE62v5(4分割)での工数削減	環境に配慮したパウダーレスのフィルター式集じん機の開発生産

※ 2021年度より特定化学物質等作業主任者の選任と特殊健康診断及び作業環境測定を開始

2. 主な環境負荷実績

環境への負荷	2019年		2020年	
①二酸化炭素排出量(kg-CO ₂)	125,700		119,939	
②廃棄物排出量(kg)	36,240		38,665	
(産業廃棄物 + 一般廃棄物)	34,600	1,640	36,996	1,669
③水資源投入量(m ³)	876		493	

* 2019年のデータは、2019年4月～2020年3月の12ヶ月データです。

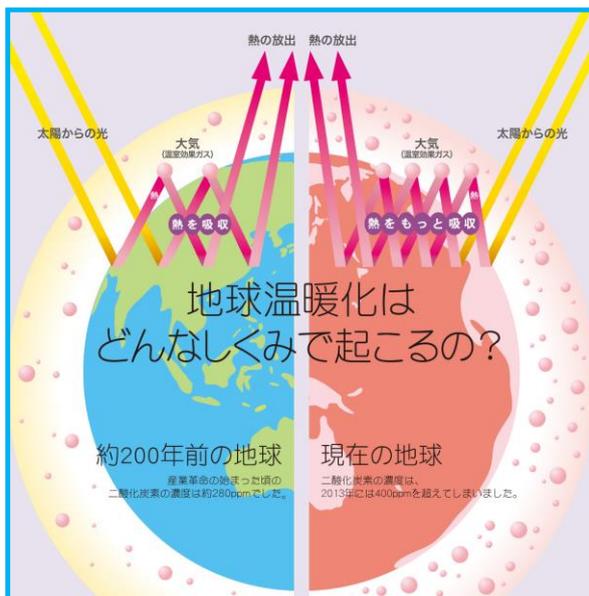
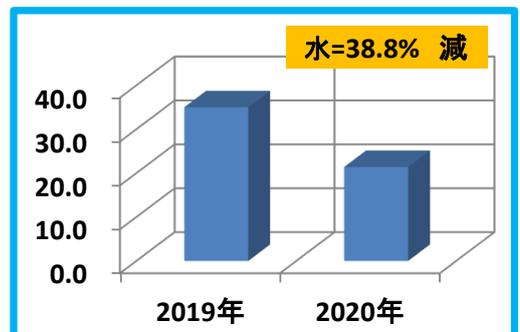
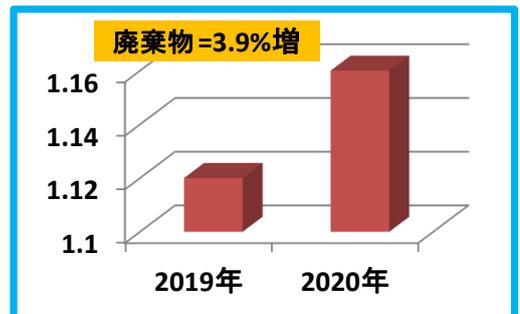
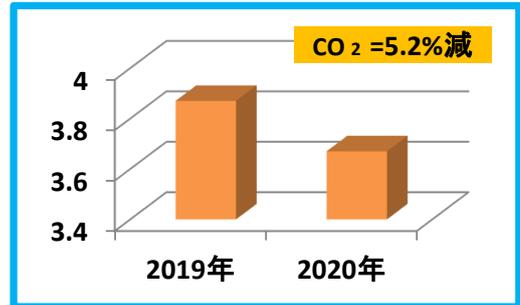
* 2020年の実績は、2020年4月～2021年3月の12ヶ月のデータです。

* 2019年度より②廃棄物排出量に一般廃棄物(可燃物)を追加しています。

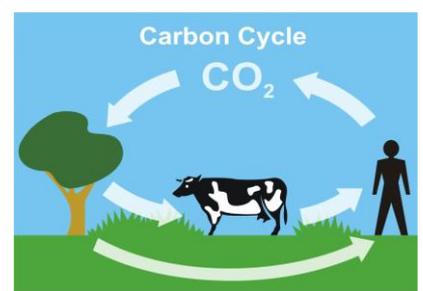
環境経営目標とその実績グラフ

環境経営目標

環境経営目標		2019年	2020年
①売上高1万円当たりの二酸化炭素排出量の削減(kg-CO ₂ /万円)	2019年の実績に対して、-5.2%の削減	CO ₂ 3.87 kg-CO ₂ /万円	CO ₂ 3.67 kg-CO ₂ /万円
②売上高1万円当たりの廃棄物排出量の削減(kg/万円)	2019年の実績に対して、+3.9%の増加	2019年 廃棄物 1.12 kg /万円	2020年 廃棄物 1.16 kg /万円
③従業員1人当たりの水資源投入量の削減(m ³)	2019年の実績に対して、-38.8%の削減	2019年 水 35.0 m ³	2020年 水 21.4 m ³



**CO₂ の削減で、
守ろう地球環境**



5. 環境活動計画の取組みと評価

* 2020年4月～2021年3月の12ヶ月の活動の取組みと評価をしております。

環境活動計画	環境活動計画の取組結果とその評価
1. 二酸化炭素排出量の削減 ①空調温度適正化・表示 ②照明不要時のOFFの推進 ③エアコン清掃の実施 ④エコドライブ推進 ⑤社用車の点検・整備 ⑥ネット回線活用による打合せ	<ul style="list-style-type: none"> ・2019年度CO2排出量(125,700kg-CO2)に対して、2020年度CO2排出量は(119,939kg-CO2)で、CO2排出削減量は(-5,761kg-CO2)と大幅にCO2排出量を抑えることができました。 ・削減できた要因としては、コロナウイルス感染対策として、TV会議やネットを使った打合せ等により、極力外出を控えたこと。また配送等の効率化を図ったことにより、ガソリン・軽油が大幅に削減できたことによる。 <p style="text-align: center;">次年度の取組内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・継続的にTV会議やネットを使い極力出張を減らす、エコドライブの継続、社用車の点検整備、納品や引取での車両管理の効率化を図り車両用燃料を節約する、空調温度適正化も継続管理。
2. 廃棄物排出量の削減 ①分別ルール徹底 ②廃棄物置場の整備 ③産廃業者との契約書の確認 ④裏紙使用ルールの徹底	<ul style="list-style-type: none"> ・2019年度実績総重量(36,240kg)に対し、2020年度廃棄物総重量(38,665kg)で、+1,669kgの増加。 ・要因としては第2工場1階のレイアウト変更に伴う、不要品の処理で産業廃棄物が増加したこと。 <p style="text-align: center;">次年度の取組内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・継続的に分別ルールの徹底を行い、廃棄予定の装置・製品・部品等は、極力分解し材質別に、リサイクル化・資源ごみ化を行い、更なる廃棄物の削減に取り組む。
3. 水資源投入量の削減 ①毎月のメータの確認(漏水防止) ②節水表示(手洗い場・トイレ) ③トイレの節水	<ul style="list-style-type: none"> ・2019年度水資源投入量(876㎡)に対し、2020年度は(493㎡)で(-383㎡)削減できました、従業員1人当たりでは、(35.0㎡)に対して(21.4㎡)で(-13.6㎡)、率で(-38.8%)減となりました。 <p style="text-align: center;">次年度の取組内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2020年度の取組み内容を継続。
4. 化学物質取扱及び管理の徹底 ①取扱商品(化学物質含有)の把握 ②購入量の把握 ③SDSの入手	<ul style="list-style-type: none"> ・塗料類の購入量把握と危険物貯蔵庫の実棚卸を毎月行うことで化学物質管理を徹底できた。 ・新たな塗料類を購入の場合、SDSを入手。 <p style="text-align: center;">次年度の取組内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2020年度の取組み内容を継続。
5. 本業に関する目標 ①生産性の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・第1工場に材料ストッカー2台を増設したことによる、レーザー加工機への材料投入工数が大幅に削減できた、また第2工場のレイアウトを変更したことにより生産性が向上した。 <p style="text-align: center;">次年度の取組内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・次期バージョン、E62v5(4分割)集じん機への移行による塗装作業工程の生産性向上。

6. 環境関連法規制の遵守

1. 当社に適用となる主な環境関連法規

法規制等の名称	遵守事項	遵守状況
騒音規制法	特定施設の届出	遵法
振動規制法	特定施設の届出	遵法
廃棄物処理法	委託基準(契約書・許可証)、マニフェスト交付・保存及び交付状況報告	遵法
消防法(危険物、液化石油ガスの貯蔵、取扱、乾燥設備)	設置の届出	遵法
化管法(PRTR制度)	第一種指定化学物質の取扱量1t以下	遵法

2. 環境関連法規への違反、訴訟等の有無

2020年3月31日の環境関連法規遵守状況の確認において、環境関連法規への違反はありません。

尚、関係当局よりの違反等の指摘は過去3年間ありません。

7. 代表者による全体の評価と見直し

5SをはじめエコドライブやCO2排出削減活動に全員が積極的に業務改善をはじめ推進活動に取り組んでいます。

今、SDGs(持続可能な開発目標)への取組が世界規模で叫ばれています。このEco21活動を継続展開して行くことで、SDGsへの第一歩としたい。

今後は定期的な活動報告を実施し、運用については事業部にとどまらず会社全体としての運用ができるよう活動を広げて行きたい。

